

2015 年度介護報酬改定の見通し

～2025 年の地域包括ケアシステムの構築に向けて～

（要約）

現在、厚生労働省において 2015 年度介護報酬改定の議論が精力的に行われています。

今月下旬か来月には、次回改定の基本的な考え方が取りまとめられます。そして、1 月中下旬には改定案の諮問・答申が行われ、来年 4 月から介護報酬が改定されます。

気になる改定率ですが、消費税増税により影響されることになります。仮に 10%に引き上げられる場合には、増税分の一部は介護分野の充実に充てられることになっていますので、介護報酬全体としてはプラス改定になると期待されます。

その一方で、厳しい財政状況や介護保険料負担増への配慮等から、かなり厳しい改定率になることも予想されます。

いずれにせよこれらは、介護事業者の経営状況、物価動向や政策の進捗状況などを勘案して決定されます。

本稿では、次回改定に関し、第 2 章介護保険を取り巻く状況、第 3 章介護保険関係審議会等の最近の提言等、そして第 4 章で次回改定の見通しを事業区分ごとに述べ、最後にこれらを踏まえて、事業戦略を考える上で考慮すべきことについて記述します。

2014 年 11 月 04 日

Healthcare note

(No. 14-12)

寄稿者名：
野村ヘルスケア・
サポート&アドバイザー
片岡 佳和
(元 厚生労働省老健局総務課長)

編集主幹：
野村ヘルスケア・
サポート&アドバイザー
市川 剛志

野村證券株式会社
金融公共公益法人部